

## 総合計画市民検討協議会 第7回報告書（健康・福祉 部会）

<b>記録者</b>	川村 昂史		<b>場所</b>	市役所北庁舎第1～3会議室	
<b>開催日時・場所</b>	平成24年5月12日（土） 午前9時30分～正午				
<b>出席者 (10名)</b>	菅野 修逸	木田 幹郎	桑原 明美	鈴木 麻理絵	
	野村 香美子	横手 喜美子	渡邊 有子		
	川村 昂史	木佐貫 博之	菅原 香理		
<b>傍聴者</b>	なし				

### 基本構想の見直しについて

<b>見直しの視点</b>	1. まちづくりの基本理念について
	以下の視点をまちづくりの基本理念に追加することを提案する。
	○「交流」 <ul style="list-style-type: none"><li>・市民が地域に住む方々を互いに知り、支え合うことができるまち。</li><li>・高齢者と子どもたちなど、世代を越えた交流を活発に進めることができることを望ましい。</li></ul>
	○「安心・安全」 <ul style="list-style-type: none"><li>・防災が行き届き、何が起きた場合でも、みんなが助け合うことができる安心感のあるまち。</li></ul>
	○「幸福感・満足感・充実感」 <ul style="list-style-type: none"><li>・生活を営む上で、幸福感が得られるようになるまちをめざす。</li><li>・多くの市民は、交通の便が良く、緑や公園も多い住みやすい府中市のことが好きであり、みんなが「I LOVE 府中！」と言うまちをめざす。</li></ul>
	○「健康なまち」 <ul style="list-style-type: none"><li>・心の健康と、身体の健康をみんなが併せ持つまち。</li><li>・犯罪のない、健全なまちづくりをめざす。</li></ul>
	○「長く住み続けられる」 <ul style="list-style-type: none"><li>・緑や公園など自然が多い町並みを維持し、長く気持ちよく住むことができるまち。</li><li>・長く続く府中の文化や歴史を重視したまちづくりをめざす。</li></ul>
	○その他 <ul style="list-style-type: none"><li>・現在の基本理念が市民に広く浸透していないと思われる所以、もう少し浸透するようなインパクトのある基本理念が良い。</li><li>・「人間性の尊重」の部分を、一人ひとりを大切にするという意味で、「人間の尊重」とする。</li></ul>

見直しの視点	<p>2. 都市像の見直しについて</p> <p>○見直し案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「魅力あふれるまち」 歴史や文化、自然という人を引きつけることができる府中の良いところを、みんなが知っているまち。</li> <li>・「豊かな環境を追求するまち」 都市としての健康さ、利便性の良さ、地域格差のないまちづくりをめざす。</li> <li>・「緑と文化の調和あるまち」 歴史や文化、自然という府中の財産を活かし、それらを繋いでいくまちづくりをめざす。</li> <li>・「清潔感のあるまち」 町並みも、心も身体も、清いまちをめざす。</li> <li>・「心はぐくむ 緑ゆたかな 住みよいまち」 現在の都市像は分かりやすく、このままで良いと思うが、「ふれあう」を「はぐくむ」という言葉に換え、未来につなげるイメージを取り入れる。</li> </ul>
見直しの視点	<p>3. まちづくりの主な課題</p> <p>(1) 少子高齢化への対応</p> <p>基本構想に示されている少子高齢化への対応については、現在においても重要な課題であり、次期総合計画を策定するうえでも留意すべき課題であると考える。ただし、少子化への対応と高齢化への対応は、解決しなければいけない課題や問題も異なるため、別々に取り扱うことが望ましい。</p> <p>○少子化への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の基本構想にある「重圧感」や「負担感」といった表現は、子育てをしている立場からすると少しマイナスイメージが強すぎるので、言い換えた方が良い。府中市は近隣市に比べると子育てしやすいまちでもある。</li> <li>・保育所の拡充や子育てヘルパー制度の充実など、子育てしやすい環境のさらなる整備が必要である。</li> </ul> <p>○高齢化への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療に関する課題についても盛り込むべきである。</li> <li>・近年は高齢者でも働くことができる方が多くいるので、高齢者の就業環境の充実も課題といえる。</li> <li>・高齢者が生涯自分らしく生き生きと生活できるよう、幸福感の持続が課題である。</li> <li>・高齢者を介護する側へのサポートやケアについても課題といえる。</li> <li>・認知症の予防について盛り込んでほしい。</li> <li>・人生で培った高齢者のノウハウを、子どもたちに伝える機会を設ける。</li> <li>・「高齢者」とひとくくりにするのではなく、高齢者の中でも年齢や身体の状</li> </ul>

	況でできること、できないことが異なるので、それぞれに合った取組みをする。
見直しの視点	<p>(2) コミュニティにおける参加と支え合い</p> <p>基本構想に示されているコミュニティにおける参加と支え合いについては、現在においても重要な課題であり、次期総合計画を策定するうえでも留意すべき課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の基本構想にある「地域」とは具体的に何を指すのかが分からない（ご近所なのか、町内会なのか、市全体なのか）。</li> <li>・府中市には転入者が多く、古くからの住人と新しい住人のコミュニティに違いがある。</li> <li>・新旧住民の交流や世代間の交流を促進する対策が必要である。</li> <li>・「人づくり」というキーワードを盛り込む。まちづくりは人が行うので、その人々が心豊かであれば、良いまちづくりに繋がる。まず、みんなが自然に近所の方々とあいさつすることをめざしていく。</li> <li>・コミュニティに無関心な方や、関心があっても参加できない方へのアピールや周知が課題といえる。</li> <li>・魅力的なコミュニティづくりをし、誰もが参加しやすいコミュニティのあり方の検討も課題である。</li> <li>・情報化社会に対応し、インターネットを活用したコミュニティの形成や、地域独自のネットワークをつくることも検討する。</li> </ul>
見直しの視点	<p>4. 土地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の土地利用については、多くの方が関心を持っていると思うので、項目を一つ増やすくらい大きく取り扱う。</li> <li>・近年、新しいマンションの建設が相次いでいるが、マンションの増加に伴う歴史的景観や自然への影響について、取り扱う。</li> <li>・工業については触れられていないが、土地利用はバランスも重要だと思うので、工業についても考える。</li> <li>・現在の基本構想にある「魅力あふれる市街地」という表現を、人が集まるまちというイメージが出るように、もう少し詳しい表現に変更する。</li> </ul>
事務局への連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回は、基本施策についてまとめを行う予定。</li> </ul>